

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 12 日

事業名稱	庁舎管理費 [節電対策]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費	事業番号 1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	総務管財 課 廉務 係				課長名	宮田 智雄		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	行 一 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現					総合計画書 (ページ)	122		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 庁舎での電気の使用量			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 電力量(kWh)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 電気の使用量を前年と比較して削減する。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 前年と比較した電力量の割合 (当年度の電力量／前年度の電力量) × 100%				
	③ そのために何をしましたか。 ①空調の起動抑制 ②空調の設定温度を夏は28℃、冬は19℃に設定 ③クールビズ、ウォームビズの推進			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①夏季は室温が28℃以上、冬季は服装で調節し適宜起動 ②③クールビズは5月～10月、ウォームビズは12月～3月				
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
	対象指標	①の数値		kWh	平成30年度実績 677,303	平成31年度実績 720,735	令和2年度実績 823,203	令和3年度目標
	成果指標	②の数値	%	99.0	94.0	87.6		
	目標	②の目標値	%	95.0	95.0	95.0		
経費	事業費(実績)		円	13,699,829	14,848,442	14,572,372	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更ください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	一般財源		円	13,699,829	14,848,442	14,572,372		
	特定財源(国・都・他) (うち受益者負担)		円	0	0	0		
環境変化等	所要人数(再任用以外)		人	5時間	5時間	5時間		
	所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0		
	職員人件費(再任用以外)		円	21,500	21,500	21,500		
	職員人件費(再任用)		円	0	0	0		
	事業費+人件費		円	13,721,329	14,869,942	14,593,872		
4環境変化等	(1) 開始年度		不明					
	(2) 環境の変化		<ul style="list-style-type: none"> 平成23年の東日本大震災により、東京電力の発電所に大きな被害が発生したことから、電力供給の安定化に資するために開始した。また、地球温暖化の防止や経費の削減も目的としている。 不用電灯の消灯や、空調のコントロールにより節電対策開始当初より使用電力が削減された。また、PPSの導入及び電力自由化の活用で、電気料金も削減された。 例年通り節電対策を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、季節を問わず、窓を開けた換気を行った。換気の影響で室内温度が適温でなくなり、空調機を常にフル稼働させる必要が生じたため、夏場及び冬場についても、例年に比べ電気使用量が上昇した。 					

事業名称	庁舎管理費【節電対策】				
担当部署・課長名	総務管財課	庶務係	課長名	宮田 智雄	

5 市民等の意見	<p>この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について</p> <p>クールビズを推進しているところではあるが、市民から庁舎内が暑いという意見が多くあった。</p> <p>令和2年度は特に、新型コロナウイルス感染症対策で、夏場（及び冬場）の冷温水発生機を使用する季節に、窓を開けた換気をしたため、上記意見が多かったとみられる。</p> <p>換気のたびに室内温度が適温でなくなり、空調機を常にフル稼働させる必要が生じたため、夏場（及び冬場）については、例年に比べ電気使用量が上昇した。</p>								
6 市民協働	<p>(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">□ 取り組んだ</td> <td>取組手法：</td> </tr> <tr> <td>☑ 取り組まない</td> <td>【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）</td> </tr> </table> <p>(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点</p> <p>特になし</p>					□ 取り組んだ	取組手法：	☑ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
□ 取り組んだ	取組手法：								
☑ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）								
7 課題	<p>(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）</p> <p>節電のための取り組みをより一層推進させる。 使用電力を抑制しつつ良好な環境を維持するには、電気・空調・給排水設備の計画的な更新が必要である。</p> <p>(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。</p> <p>例年のクールビズ、ウォームビズ対策の実施。 空調については、庁舎冷温水発生機基本設計委託を実施し、空調機更新に向けた計画を進めた。</p> <p>(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）</p> <p>令和2年度に実施した、庁舎冷温水発生機基本設計委託をベースとした、空調設備更新工事実施設計委託を活用し、効果的な節電対策を行える設備設計を目指す。</p>								
8 施策貢献状況	(この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。)								
	<p>施策名：効率的でスリムな行財政運営の実現</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）</p>								
9 今後の方向性	<p>(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p> <p>【取組内容】</p> <p>庁舎トイレ照明の人感センサー化と照明器具のLED化への移行に伴い、消費電力の軽減に向けたモデルとしていく。</p> <p>(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等</p>								